



えがおがいっぱい 9月



人生に必要な知恵は
すべて 幼稚園の砂場で学んだ

幼稚園型認定こども園 和光幼稚園
令和2年9月25日(金)
主幹 三月田 智子

ロバート・フルガムのこの言葉が、幼稚園教育の本質であると言われています。子どもたちは、砂場遊びが大好きです。お団子を作る子、山を作る子、ごはんに見立てておままごとをする子など、砂場から様々な遊びが広がります。

私たち教師も、ただ遊ばせるのではなく『砂の感触に触れ、面白さや不思議さに気付いてほしい』『友達と一緒に活動する喜びを味わってほしい』など、ねらいを立て保育を進めています。そして、砂場という一つの空間から、表現・言葉・人間関係などの育ちを感じることができます。

幼児期の子どもたちは、「遊び」を通して、発想を豊かにし、探求する力を身に付けたり、友達の主張と自分の主張との折り合いをつけたりして、他者への思いやりや善悪の判断など、社会性や道徳性を身に付けていきます。



もうすぐ運動会！！



幼稚園にはたくさんの行事があります。どの行事も、子どもの育ちの中で、ねらいや目標を決めて取り組む大切な行事ですが、その中でも、運動会や発表会は、子どもたちにとって目標が分かりやすいのではないのでしょうか。友達と力を合わせ、乗り切ることをたくさん経験します。この経験が、子どもの成長へとつながります。

失敗しても、良い結果が残せなくても、最後まで本気で取り組む姿勢。私たち教師は、この姿勢を大切にしていきながら、「責任感が育ってくれるといいな。」「あきらめずにやりぬくことを伝えたいな。」「助け合うことの大切さを知ってほしいな。」「相手を思いやる気持ちを育てたいな。」等々・・・様々な願いや思いの中で子どもたちと共に取り組んでおります。

その様な中でいよいよ 2 週間後に控えた運動会。今年度は縮小した形になりますが、それぞれの学年やクラスが、目標を決めて、期待を膨らましながら当日を迎えると思います。保護者の皆様も温かい応援をよろしくお願いいたします！

